

洋書輸入協会会報

VOL. 21
NO. 4

(通巻240号) 昭和62年4月

理事会報告

2月26日(木)

(一) 売上税

小林理事長代理、栗原光輝氏(洋販)、松井幸雄氏(丸善)の三氏が、出版四団体の売上税対策委員長服部敏幸氏(講談社会長)を訪ねて懇談し、とりあえず、3月2日の書協会員の集会、3月18日の大集会にオブサーバーとして参加するよう要請されたことが報告された。

(二) 規約改正

総務委員会の修正案について松井幸雄氏の説明、佐々木太刀雄(第一出版貿易)、および上杉勝良氏(UPS)の補足説明があり、それにもとづいて討論された。

(三) 1961年輸入通関統計

この程大蔵省関税局から発表された昨年の輸入通関統計にもとづく書籍・雑誌の輸入通関統計について顧問相良広明氏から書面によって説明があった。〔会報〕3月号参照)

(四) その他

3月10日(火)

(一) 2月分収支計算・予算対比表

総務委員会での検討にもとづく松井幸雄氏の説明を承認した。

(二) 社名変更および脱会

正会員ハーコート・ブレース・ヨヴァノビッチ・ジャンが株式会社 HBJ と社名を変更し、賛助会員 CBS 出版株式会社は3月31日を以て脱会することが報告された。

(三) 規約改正

松井幸雄氏の説明によって最終修正案を可決して、理事会案とし、これについて会員からアンケートをとることが提案され、その案文を決定した。

(四) 総会

定時総会を5月13日(木)2時から学士会館(本郷)で開催することとした。

(五) 緊急連絡網

松井幸雄氏の説明により、緊急連絡網の原案が審議され、修正の上決定した。

(六) 複写機、ファクシミリ

見積書を検討の上、複写機は U-Bix1210 を、ファクシミリは三菱ファクシミリ FA-4570 をリースすることとした。

(七) その他

理事会報告…………… 1
文化厚生委員会だより
第17回麻雀大会…………… 2

関西支部だより
関西支部長杯ゴルフコンペ…………… 2
洋書輸入協会史(18)…………… 3

海外ニュース…………… 5
おしらせ…………… 5
広告…………… 6

第17回麻雀大会

協会恒例行事の一つ、麻雀大会が3月27日に開催されました。いつものボニー（神田神保町）にほぼいつものメンバー20人が集まり、売上税も決算も忘れて、ワイワイガヤガヤと半荘3回の短期戦。技術よりも運とツキがものを言う熱戦です。その上、サイフの中身を心配しないでできる麻雀のため日頃堅いと言われる人も奔放。マンガンのテンパイをこわしてハネマンを狙う人もいます。うしろで見ていた幹事の本田さんも思わず一言、「欲張!!」。

ゴルフではスーパーショットかO.B.かと言われる和田さん（大洋交易）、この日はツキにまかせたスーパーショットとショートカットの連続で、最後の半荘に入るまで堂々トップを走っていた雀士高瀬さん（サイテック）をとらえ、逆転優勝。激戦の結果は次のとおり。

優 勝	和田	大 洋 交 易
準優勝	高瀬	サイテック
3 位	稲垣	内 外 交 易
4 位	湊	紀 伊 國 屋
5 位	鶴	東亜ブック
B. B.	広瀬	大 洋 交 易

大会終了後、ビールを飲みながら成績発表と賞品授与が行われ、又その席で長年この大会の幹事として大変お世話になった本田さんが、この6月で白水社を退社されとの発表がありました。本田さん長い間本当にありがとうございました。会場からは「本田さんのいない麻雀大会なら俺来ないよ」との発言もあり、次回からはぜひプレイヤーとして参加して戴きたいと思います。幹事役は鶴さん（東亜ブック）に引き継がれました。本当は自分もプレイしたいのに、幹事であるためできないつらさをこらえて、いつもながらお世話戴いている名幹事の村山さん（ゲート書房）との絶妙なコンビで次回大会が期待されます。

関西支部長杯ゴルフコンペ

日頃の怠慢をお詫びしつつ、その後の関西支部長杯ゴルフコンペをレポートします。第22回を迎えるところになりますと、世代交代の波は激しく、新しき勝者が誕生してゆきます。

・第22回

（7月19日 '86 スポーツ振興 C. C. 参加者12名）

		Net	Hdcp
優勝	畑 雅弘(厚生社)	74	(17)
2 位	的場次郎(カイガイ)	75	(20)
3 位	谷口定三(厚生社)	77	(22)
DC 賞	前田(ブックマン) 畑		
NP 賞	松永(北尾) 杉原(ユニオン)		

ひとこと：厚生社デーでした。

・第23回

（11月22日 '86 ABC G. C. 参加者12名）

		Net	Hdcp
優勝	藤本 勉(紀伊國屋)	63	(36)
2 位	谷口定三(厚生社)	71	(20)
3 位	中村光伸(ブックマン)	76	(14)
DC 賞	小谷(カイガイ) 森(洛陽書店)		
NP 賞	畑、前田		

ひとこと：なんといっても、紀伊國屋藤本氏のぶっちぎり初優勝

・第24回

（3月14日 '87 蒲生 G. C. 参加者11名）

		Net	Hdcp
優勝	山川芳史(ノベルティ)	68	(21)
2 位	畑 雅弘(厚生社)	81	(14)
3 位	前田敏雄(ブックマン)	82	(12)
DC 賞	松永、中村		
NP 賞	畑、谷口		

ひとこと：ノベルティ山川ジュニアの優勝、独亜書院坂本ジュニアの初参加、業界もいよいよジュニアの時代か！

(関西支部 hm 記)

洋書輸入協会史 (18)

洋書輸入協会顧問 相良 廣明

22 民間貿易復活の進展

22.1 海外出版物の輸入に関する説明書(第一次)の提出

昭和25年1月10日、同業会理事会は通産省と経済安定本部に対し、民間貿易復活に伴い1月1日より施行された「輸入貿易および対外支拂管理令」の適用に際し、関係官庁に知っておいて欲しいと思うことを説明書にして提出した(JBIA 会報昭和62年2月号、Vol.21、No.2所載、協会史(17)の21.3項参照)。その要点は下記の通り。

記

海外出版物の輸入に就て

- (一) 海外出版物の種類……本文省略
- (二) 仕入地……同上
- (三) 取引先……同上
- (四) 註文の種類……同上
- (五) 積出方法……同上
- (六) 輸入金額

戦前における我国への輸入額は、別表(注参照)の如くである。(かつての大蔵省の貿易統計に記録されて居る書籍輸入の数字は税関経由の船積貨物分のみであって、郵便によって輸入された書籍雑誌類は計上されていないので実際とは非常な懸隔があった。本表の数字は業者手元の数字から推定したもので正確に近い数字と信ずる。)

該表が示す通り1936年より戦争勃発の前年の1940年迄の5ヵ年間に於ける年平均は約560万円である。これを為替相場の上昇率本国に於ける値上り等を考慮して時価に見積ると5億6千万円、約6億円と推定される。

尚戦災により焼失した多数の重要書籍雑誌の補充及び数年間の輸入杜絶による学術研究書等に対する学界、研究機関其他の熾烈(しれつ)なる需要に鑑み割当額の設定に当っては十分の考慮が要請される。

(注)添附された別表は「List of foreign publications imported during 1936—1940」であり、既にJBIA 会報昭和60年12月号、Vol.19、No.12所載、協会史(4)の5.1に掲載したので、ここでは省略する。

- (七) 取引条件……本文省略
- (八) 特殊性

以上海外出版物輸入の概要を記したが、その中に他の商品と比較しての出版物それ自体の特殊性とその取引上

の特殊性が自然に示されていると思われる。次に一括してその特異の諸点を列挙して御参考に供する。

1. 需要者が広く各部門、各分野に涉っている事。
2. 商品としての内容、性質、種類、価格、取引条件が多様である事。
3. 仕入地が世界各国に及んでいる事。
4. 註文の中に次の如き理由の品切れが多く、この品切れを発注前に予知する事が困難であること。
 - a. 絶版 b. 売切れ c. 再版中 d. 製本中 e. 未刊
5. 出版予告により発行前に発注しておかねば売切れとなり再び入手出来ぬものがあること。
6. 書籍により、また出版者により割引率が不定であり又品切れも多く且つ個々の大きさ重量が不明なる為運賃の測定も困難、又代価の判明せぬ場合もあり発注時に於て正確な輸入金額の推定が困難なる事。
7. 取引先が多く又需要者の註文がまちまちなため小口、小額の註文が多き事。
8. 其の為これ等の註文につき一々プロフォルマ・インボイスを請求しての発注は非常に困難なること。
9. 目録によって註文しても其後代価の変更する場合が屢(しばしば)あること。

昭和25年1月

海外出版物輸入同業会

この説明書の全文は3,500字に近いものであり、要するに洋書は多品種少量販売で、仕入先・販売先共に多数であるため大変な手間がかかり、しかも商品の入手までには不確定要素が強い仕事であるという、今日においても至極もったもなことが強調されている。

ところが当局には、この説明書の趣旨・内容が理解されていないということが間もなく判明し、5月、更に9月にも追加して説明書・陳情書を提出し善処方を要望することになる。こうして民間貿易の方については、その復活経過において面倒であり煩雑なことばかりであっても、このような説明、陳情を重ねて少しずつ実情が理解され、時日の経過と共に実情に合うように改善され、同時に業者側も新制度に慣れてくるといふ日本のパターンをたどることになる。しかし1月17日から具体化し始め

たCIEプランによるガリオア資金を使って米書を輸入する話は、意外にも急進展し、この説明書の趣旨は全く活かされず、重大な過誤が生ずることとなる。これについては後述する。

22.2 最初の申請と外貨割当て（米書のみ）

1月以来少しずつ輸入公表が始まったが、書籍・雑誌にはなかなか廻ってこなかった。待望のそれがなされたのは、3月の第4回輸入公表においてである。

同業会は昭和25年3月13日に臨時懇談会を開き、通産省の平井事務官を招いて説明をして貰った。1～3月期については、米国に限り書籍・定期刊行物の輸入資金割当があり、その申請締め切りは3月16日であり、申請のためには「輸入貿易及び対外支拂管理令による書籍・定期刊行物の輸入手続き」（JBIA 会報、昭和62年2月号、Vol.21、No.2所載、協会史107の21.3項参照）をやらなければならなかった。即ち輸入したい書籍・定期刊行物のすべてについて明細なリストを作製し提出するのである。

この作業はインスペクションと称し、公表から申請締め切りまでの期間が短かったので、業者側にとっては忙しい大変な仕事であった。これが自動承認制となるまでの間、輸入公表された国毎、そしてその後は四半期毎に膨大な作業量として続いていくことになる。

通産省は提出されたこれらのリストを、割当て可能な外貨の範囲内で、前述の管理令に定められている条項に基づいて大なたを振って削りとり総司令部へ廻附する。この間の事情を4月1日付の海輸第74号は、次のように会員に知らせている。

記

米英書輸入に就ての中間報告

頭記の件其後の経過に就き関係当局と折衝中の処左記判明致しましたから中間報告申上ます。

(一) 民間貿易資金による米国書籍及定期刊行物の件

3月16日〆切として通産省に於て受付を了した外貨資金申請書は其後同省に於て整理中の処両三日中に完了総司令部へ廻附される予定の由。

(二) 略

(三) 民間貿易資金による第二四半期の分に関しては目下の処不明。

(四) 英書

英書の輸入に就ては磅為替資金の関係から先般の通産

省公表に洩れておりましたが、当会と致しましても関係方面と極力折衝中であります。
(以上)

昭和25年5月8日、この最初の申請に対して外貨資金の割当が決定した。しかしその額は希望的期待に反して極めて少額であった。また同日第二四半期4～6月の外貨割当申請に関する発表があり、5月10日にその輸入手続説明会が、通産省の平井、助川両事務官出席の下に日劇地下室で開催された。5月25日付では「外貨資金割当事務処理要領」に関する通牒が出されている。

22.3 英書について

前記(四)の関係方面への折衝が効を奏したのか、間もなく英書への外貨割当申請（1～3月期）の許可が出た。昭和25年4月5日付、海輸第75号では、次のように会員に知らせている。

記

磅（ポンド）地域よりの書籍輸入の件

本日第八回通産省輸入公表中に、書籍定期刊行物として左記の如く発表されましたから不取敢御一報申上ます。

- (1) 仕入地域 スターリング地域
- (2) 輸入限度（米\$）6,000
- (3) 担保比率 5 %
- (4) 外貨資金割当証明書 要
- (5) 銀行受付開始日 4月10日
- (6) " 締切日 4月28日
- (7) 通産省受付締切日 4月8日
- (8) 申請形式及びカテゴリ 前回の米国図書の場合と同様

尚定期刊行物は、現在英国連絡庁経由で輸入出来ますので、今回の割当からは除外される由ですから、申請の節御注意下さい。
(以上)

(注) 英国の定期刊行物については後記する。またいずれ取り上げるが、(3)の担保比率に注目を要する。

22.4 その他の国

(1) スイス・スペイン

第10回輸入公表（5月）にて。4～6月期外貨割当。

(2) 西独

第14回輸入公表（6月）にて。4～6月期外貨割当。

- (3) フランス・オランダ・デンマーク・スウェーデン
第19回輸入公表（7月）にて。7～9月期外貨割当。
- (4) イタリア、オーストリア
第30回輸入公表（11月）にて。10～12月期外貨割当。
- このようにして、逐次民間貿易の範囲が拡大していった。

22.5 昭和25年の民間貿易の外貨割当額及び総入荷量

多大の期待をもって始まった民間貿易であったが、当初の1～3月期の外貨割当額は少なく、360円換算で約4,600万円で、需要のほんの一部を満たすに過ぎなかった。しかしその後は逐次増大していく。その経過は次表の通り。

(注) 下記の(表1)、(表2)は、丸善百年史下巻、1,196及び1,197ページより転載すると共に若干の計算を加えたもの。

(表1) 昭和25年1～12月民間貿易による書籍・定期刊行物に対する外貨割当額

期 間	申請額	割当額	割当率	構成率
第一四半期 (1～3月)	\$238,207	\$128,000	54%	10%
第二四半期 (4～6月)	443,948	250,060	56	19
第三四半期 (7～9月)	542,107	321,661	59	25
第四四半期 (10～12月)	894,508	589,919	66	46
計	2,118,770	1,289,640	60	100

割当額の年間計は、360円換算で約4億6,427万圓に相当する。

(表2) 昭和25年1～12月、各国別洋書輸入額

(単位 千円)

国 別	上半期	下半期	合計額	構成比
米 国	11,213	33,707	44,920	48%
英 国	11,729	19,445	31,174	34
仏 国	4,577	2,593	7,170	8
独 国		4,537	4,537	5
そ の 他		4,539	4,539	5
計	27,519	64,821	92,340	100

(表2)の数字は総入荷額であり、(表1)の数字は民間貿易のみの外貨当額であってこれから発注するものである。また(表2)には民間貿易による入荷額だけでなく、英・仏使節団経由の入荷、ガリオア・エロア資金による入荷なども含んでいる。従って(表1)と(表2)の額は一致しない。

海外ニュース

「英国書籍の単価再上昇」

1986年の前半(1～6月)は、英国の書籍の平均単価は5年来はじめてダウンして、英国の出版業界、書店業界はこぞってこれを歓迎した。しかし後半(7～12月)には平均単価はふたたび上昇に転じた。

書籍全体の平均単価は、この半年で16.29ポンドから17.14ポンドへと5.2%上昇した。新刊書は17.23ポンドから17.95ポンドへと4.2%の値上り、重版書は13.41ポンドから14.41ポンドへと7.5%の値上りであった。

しかし、過去1年間で比較すると、全体は僅か2.2%の値上りであり、新刊書は3.4%の値上り、重版書は3.4%の値下りである。

後半の上昇にもかかわらず、年間を通して見ると書籍の価格上昇率はきわめて低いものとなっており、現在かなり低く押えられている一般物価の指数をも下回っている。

(The Bookseller, 2月6日号より)

おしらせ

次の通り就任通知がありました。

エルゼビア サイエンス パブリッシャーズ

日本支社長 深 田 良 治

このたびハーコート・ブレイス・ヨヴァノビッチ・ジャパンは、CBS出版株式会社を吸収合併して社名を株式会社HBJと改称し、下記にて業務を行うことになりました。

〒102 東京都千代田区一番町22-1

一番町セントラルビル 2階

Tel. (03)234-3911～5 Fax. (03)265-7186

国際的な資本逃避の歴史

The Flight of International Capital: A Contemporary History

本書の目的は、1931年夏を国際金融問題の新旧の分岐点とみて、その後の国際的な貨幣の移動を歴史的にとらえることにありますが、通貨の動きを政治、経済上の出来事、およびそれに反応する投資家と関連づけることで、投資の歴史をあざやかに分析しています。著者は国際的な資本の流動の歴史を大きく5つの時期にわけて考察しています。すなわち、英国が金本位制を停止した1931年から金ブロックの崩壊した1936年までのフラン＝ドル基軸の時期、資本逃避の波が米国へおしよせ第二次大戦へと至るまで、ドルとスイス・フランのみの「硬貨」として生き残った1950年代後半まで、1971年にマルクが変動制に移行するまでのマルク＝ドル基軸の時期、最後に資本の流動が通貨価値の激変をもたらす変動相場制の現在まで、です。投資家の動きは、時代の動きと密接に関係しています——ヒットラー・ドイツの拡大する危機、ヨーロッパの戦乱、戦時下の密貿易、冷戦、ベトナム、エネルギー危機、等々。本書は、通貨移動のパターンを明らかにすると共に、今日の投資家にとっての歴史の教訓を引き出すことに成功しています。

CONTENTS

Illustrations and Maps. Tables and Figures. Acknowledgements. List of Abbreviations. Introduction. 1. Years of Hegemony for the Paris-New York Rate. 2. Capital Flight in the Approach to War. 3. Solitary Freedom for the Swiss Franc. 4. Towards the Mark-Dollar Axis. 5. Early Experience of Floating. 6. The Rise and Fall of Refuge-Currencies. Chronology. Bibliography. Index.

0-7099-5036-5

464 pages

1987年6月刊行予定

予価14,400円

ヨーロッパ通貨の混迷：ある時代の終焉

Monetary Chaos in Europe: The End of an Era

ドイツ・ナチズムの台頭やバルカン半島、中央、東ヨーロッパにおける領土分割など20世紀の最も重要な政治的事件の多くは、今世紀の初めの30年間に中央ヨーロッパに生じた政治、経済的混乱に源を辿ることができます。本書は1914年6月のサラエボ事件から1931年7月のドイツ金融恐慌にいたる、ヨーロッパにおける戦争、敗戦、革命が金融市場におよぼした影響について考察します。著者ブラウン博士は、今日の投資家がその判断を誤らないためには、当時の金融事情についての理解が極めて重要であると強調しています。特に、優れた投資家にとっては、政治的、経済的に起こり得る諸状況を想定し、その可能性を正確に測定する技術が不可欠であると述べています。本書の執筆に際し、当時の各国金融市場の雰囲気や正確にとらえる最良の方法として、著者はヨーロッパ各国の金融紙誌を綿密に調査しました。本書の分析は、経済、金融問題の専門家はもちろん、当時の政治と社会に関心をもつ読者にとってもきわめて興味深いものです。

CONTENTS

List of Illustrations and Maps. List of Tables. Acknowledgements. List of Abbreviations. Foreword. 1. After Sarajevo - Will there be War? 2. War, Peace Rumours and Currency Speculation. 3. Life After Death for the Austro-Hungarian Crown. 4. Weimar, Poincare and the Mark's Destruction. 5. The Wall Street - Berlin Axis, 1924-31. Chronology. Bibliography. Index.

0-7099-5035-7

256 pages

1987年9月刊行予定

予価10,800円

CROOM HELM
London & Sydney

昭和62年4月 通巻第240号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル612号室

☎271-6901 FAX271-6920

〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル

☎371-5329